

# 西伊豆町議会の行政視察を迎えて

産業建設常任委員会

## 遊休農地の悩みは共通している

温泉観光と漁業の町として知られるが、休止符のない地震や津波対策に迫られる政策に悩んでいるという。静岡県でも政策的には置き去りにされているという伊豆半島では、求心的な役割を占めるこの町は人口1万人・年間予算96億円程で、交付税・町債等の依存財源が65%と弱い。そのため町民が夕陽を活かした「夕陽のまち」づくりを、



榛東村の「遊休農地」も増えている。



保健相談センターを視察する西伊豆議会の皆さん



西伊豆町議会を迎えて

「遊休農地」の対応に質疑が集まった。榛東村の実情は、農業委員会の実態調査・改善指導で、政策として法的措置は何もない。雑草が繁茂し原野に帰る様相はいつでも同じで、食

西伊豆の財産にとその「ビジョン」を行政に提案し活動が始まっているようだ。町の面積の

半分を森林として背負い、少ない土地と海を相手に町を守ってきた

が、最近イノシシ・シカの被害が多く、その対応とか

「遊休農地」の対応に質疑が集まった。

榛東村の実情は、農業委員会の実態調査・改善指導で、政策として法的措置は何もない。

雑草が繁茂し原野に帰る様相はいつでも同じで、食

も同じで、食

い止める手段はなにもなされないし効果的な政策はない。耕作放棄や作付けしない農地は時に「火災発生要因」になる危険性が止められない。榛東村でも2008年の耕作放棄地実態調査では、田・64件・面積で6ヘクタール、畑・234件・面積で23ヘクタールの農地が無駄に遊んでいる。

この荒れ果てた農業用地の利用権の問題を政治が設定しない限り、調査だけでは解決にならないことを識って見過ごすしかない。この放置された土地を使つて西伊豆では全ての幼稚園・小中学校では食育の一環として生徒が耕作しているが、アリの一穴にはならない。榛東村も山林面積が多いことから、イノシシの被害も増えているが、この被害に行政からの支援は現在のところない。材木の停滞が長引き山林では収入に伊豆の海は無制限に生産活動ができ羨ましいと、時間いっぱい双方の違いを認めたい、今後に役立てたい研修になったかと思う。

## 天寿を全うする責任

お笑いのジョークで「天国はよほど住み心地が好みに違いない、行ったときり帰った者が一人もいない」ジョークとは百も承知だが、懸命に自分を納得させようと最近焦るが。

人は誰でも個々に老いの時を迎える。自分に与えられた時間はどれだけか？かがえのない日々を前向きに好奇心を持って夢中になりたい。私も速や70代半ばを過ぎている。

だが、身体の衰えを超えて心豊に生きることを、次世代を担う人達へ励ましになるよう伝えたいものだ。「歳を重ねるだけでは人は老いない、理想を失う時に初めて老いると。」

井戸水をバケツで汲み、燃し木で風呂を焚く貧しかった過去と、豊か過ぎる現代、どちらが幸せかと聞かれれば、なぜか物忘れが進んでも昔が懐かしく思えてならない。

中国の古い詩に「人生70歳古来まれなり」から70歳

を「古希」と知らされている。70歳は要注意・昭和一代の人は戦中戦後でタンパク質が取れなかった。そのため血管がもろく長生きできないと言われる。だが70代はそのことを気にする気配はない。まあ70歳ともなれば賞味期限の衰退は当然の理（ことわり）であろう。それより今心配なのは、そばにテレビがあると離れられない、このままではテレビの奴隷のように脳のはたけを早めてしまうのでは、と心配になる若老人が増えているのは困ったものだ。

徳川三代に仕えた天台宗の僧侶の言葉で、「はかない人生の中で天寿を全うすることは素晴らしいこと」と言ったがそれには、気は長く・務めは堅く・色薄く・食細くして・心広かれ、と伝えられている。永年生きてきた年寄りには困った時に生き抜く術を知っている。現代の地球世界に65億人が平等に使えるのが、時間・1日が24時間。これをうまく使いこなす知恵を後世に伝えて行かなければと、この頃しきりに思うようになった。（綿貫）

# 「しんとうむら議会だより」 46号の発行にあたって

## 議会広報特別委員会

議会だよりは行政のお目付け役で「議員だより」にあらずと言われている。年に4回の定例議会ごとに発行されることから、その都度に原稿・編集に改善を加えながら46回目の発行となった。議会だよりの役割は、より良い行政を実現するために発行されるものだが、議員の仕事は執行の提案に対し是非を示すもので、この判断力を養うために研修を行い基本的な勉強と、村民に役立つ評価を平常時に受けられる努力が求められている。

このことを踏まえ、今期の広報委員会では「議会だより」を議員の「説明責任」という考えで発行することを決め、最善の努力を続けている。

さて「しんとうむら議会だより」は平成9年4月20日の立ち上げ以来、徹底して議会活動の記事・議案と審議の記事・一般質問の回答をメインに、先進地の視察研修等の報告記事等を重

## 広報委員会のメンバー



視して掲載し、平素の議員活動が理解されるよう努めてきている。

行政の情報を伝える「議会だより」を全国の議会が発行している中、読者に評価される議会活動の全てを把握するのは難しいし、ましてや発行行程を委員会独自で行う私達には力の及ばない部分も少なくない事を自覚して、平素も村内はもちろんん世の中の動きに細心の注意を怠らず、着眼点を村民に対する議員の責任に終始しなければならない。

「人の心が解る心を教養という」が、人の心が解る度合は難しい。相手の苦痛を理解できる医師を名医というように、議員も世のため人のために考える仕事でもあり、榛東村の村民に代わって行政への苦言を「議会だより」を通じて果たせるよう、議会広報特別委員会は次期・改選後の委員会に継続して行きたいと心している。

# 議会日誌

## ■ 10月 ■ \*\*\*\*\*

- 15日～16日 関東議長会
- 17日 全員協議会
- 19日 村づくり祭
- 20日 群馬県町村議会議長会役員会
- 22日 渋川地区広域市町村圏振興整備組合議会運営委員会  
地域開発・次世代育成支援特別委員会視察研修  
(福島県棚倉町)
- 29日 群馬県町村議会議長会町村議会議員研修会
- 30日 北群馬郡町村議会議長会町村議員研修会

## ■ 11月 ■ \*\*\*\*\*

- 4日～6日 文教厚生常任委員会視察研修  
(駿府学園、東京都瑞穂町)
- 7日 榛名興産市町村組合議会  
議会運営委員会  
3 常任委員会合同委員会  
第4 回臨時議会  
全員協議会
- 13日 静岡県西伊豆町議会視察来庁
- 19日 町村議会議長会全国大会
- 20日 全員協議会
- 27日 相馬ヶ原期成同盟東京陳情

## ■ 12月 ■ \*\*\*\*\*

- 2日 議会運営委員会
- 3日 総務常任委員会
- 4日 文教厚生常任委員会
- 5日 産業建設常任委員会
- 10日 議会運営委員会  
第4 回議会定例会 初日
- 11日 総務常任委員会
- 12日 文教厚生常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 16日 基地対策・庁舎建設・幹線道路特別委員会  
地域開発・次世代育成支援特別委員会
- 18日 文教厚生常任委員会  
第4 回議会定例会 最終日
- 22日 総務常任委員会
- 26日 歳末夜警激励巡視
- 29日 工事現場歳末安全パトロール

# 小学生の夢



いけだ さやか  
池田 彩香さん  
(南小 6年)

私の将来の夢は、幼稚園の先生になることです。なぜかという、小さい子が大好きだからです。なので将来は、幼稚園の先生になって小さい子どもにいっぱい遊んであげたいです。



こばやし かずま  
小林 一馬くん  
(北小 6年)

ぼくの将来の夢は画家です。なぜならぼくは、絵が大好きだからです。この前ぼくは菊の花を描き、色をぬりました。そしたらこの花の絵がうまいきました。これからも努力していきたいです。



はらさわ ひろき  
原澤 広樹くん  
(南小 6年)

僕の将来の夢は、プロ野球選手になることです。僕はプロ野球選手になれるように野球部で努力をしています。練習はきびしいけど、夢に向かってがんばっていきたいと思います。



あさみ りょうた  
浅見 亮太くん  
(北小 6年)

僕の将来の夢は自衛隊に志願することです。榛東村にも自衛隊があって、イラクに行き救援活動をしている所をテレビで見て、りっぱに見えたので大きくなったら自衛隊に入って困っている人をたすけます。



たかはし はるか  
高橋 遥さん  
(南小 6年)

私の将来の夢は、いろいろとあります。でも私は、子どもがほしいので、やさしいお母さんになりたいです。やさしいおよめさんになって、お母さんになって幸せにくらしたいです。



ふくおか ゆう  
福岡 優さん  
(北小 6年)

「絶対かなえるぞー」そう決めた夢は音楽のせんもんか。前までは空手を習っていたけど、もうやめてしまったから空手の選手になる夢はなくなった。でも新しい夢を目指してがんばるぞー。

お願い

皆様のご意見をお待ちしています。

◆連絡先：議会事務局 ☎54-2211

「私は貴方の大統領になる」と勝利宣言した「オバマ」さんも熱い志を抱いて苦しい努力だったに違いない。限りない倒産や失業者が溢れ、中には運転手付のベンツで子供を送迎するアメリカ社会と、終止符のない中東戦争やテロ事件と戦い、世界の命と地球社会をリードする責任を背負った次期大統領だが、「あの時は仕方が無かった」と言わない政治家を目指してきたと言おう。さて、一週間に1兆6千億円もの借金を重ねる日本の政治に、地方自治として関与している私達議員も志を止めてはならない新年にしたいが。

(綿貫)

編集後記